

平成 25 年 度

事業報告及び附属明細書

公益財団法人 やまがた健康推進機構

I. 概要

当法人の検診事業等を取り巻く環境は、少子高齢化の伸展による人口減少が続く中で、平成20年度からの健康保険制度の改正や市場競争の激化等の様々な要因から、受診者数の伸びが鈍化しており、経営面でも、事業収入が伸び悩む中で、人件費等の固定経費の大幅な増加に歯止めがかからず、ここ3か年連続で経常収支が減額となるなど厳しい状況が続いている。

平成25年度の検診事業収入の伸びは、前事業年度とほぼ同額の4,200万円余りとなったが、人件費をはじめとした経常費用の減額・節減にこれまで以上に取り組んだこと等から、経常費用が減少に転じ、4期ぶりに経常収支が増額となった。

しかしながら、検診を取り巻く環境を考慮すれば、事業収入は、今後とも大きく伸びることは期待できないと推測される。このようなことも踏まえ、今般、外部有識者による「第1次中期運営計画策定委員会」を設置し、ご意見をいただきながら新たに平成30年度までを目標とする「第1次中期運営計画」を策定し、受診者ニーズを踏まえた質の高い検診サービスの提供のための取組みを計画的に推進するとともに、効率的な事業執行と経費の節減に努め、公益性と健全性の両立した法人運営を行うこととした。

平成25年度の事業執行については、普及啓発事業では、「みんなで広げよう！健康の輪 2013」、「やまがたピンクリボンフェスタ 2013」等を主催、共催し、県民の皆様に対して、健康の大切さを訴えた。また、市町村の健康祭り等に積極的に参加し、地域に密着した活動を展開するとともに、県の新規事業である「大腸がん検診受診促進キャンペーンイベント」に参加し、受診勧奨を行うとともに検診の重要性を訴えた。

検診事業では、特定健康診査、人間ドック、全国健康保険協会管掌健康保険生活習慣病予防健診への総合健診化を進めるとともに、離島・過疎地、社会福祉施設における検診等を実施するなど、県民の皆様に対して、幅広く検診サービスの機会を提供した。また、巡回検診におけるエックス線撮影について、医師の立会いに努めた。

固定資産等の整備更新については、山形検診センターに胃部・呼吸器併用検診車を整備するとともに、最上、南陽検診センターに胃・胸部撮影のためのデジタルエックス線撮影装置を整備した。これにより、すべての検診センターの施設検診において、胃・胸部デジタルエックス線撮影装置が稼働することとなり、更なる検診精度の向上が期待される。

最後に、検診データの有効活用等については、検診データの集計分析を行い、幅広く情報の提供を行うとともに、当該データ等を活用して、職員の学会発表等が積極的に行われた。また、医師、職員による健康教室等を県内各地で開催した。

II. 普及啓発事業

1. 広報活動

いづれの事業も、平成25年度事業実施計画どおり実施した。一方で、「みんなで広げよう!健康の輪2013」については、全職員参加による事業展開を行うなど組織の盛り上がりはあったものの、一般県民の参加者数が依然として少ないなど、県民の関心も薄く広がりには欠けている面もあり、企画内容の見直し、事前の周知方法の改善、イベント開催手法の検討等の課題が残った。また、テレビ、ラジオ等の広報についても、費用対効果の観点からの検証を行うなどの効果的なCMについてさらに検討を行う必要がある。

(1) 各種キャンペーン、イベント等の実施

① みんなで広げよう!健康の輪2013

- ・平成25年9月14日、山形市内で開催した。講演会への一般県民参加者約180名
- ・9月の「がん征圧月間」及び「結核予防週間」、10月の「がん検診受診率50%達成に向けた集中キャンペーン月間」に併せて開催した。
- ・子宮がん闘病体験を有する女優「原千晶」さんの講演、全職員による健康パンフレットの街頭配布等を実施し、健康の重要性等を訴えた。
- ・公開ラジオ放送を行い、健康啓発の1日と位置付けて、県内一円に健康情報を発信した。

② やまがたピンクリボンフェスタ2013

- ・平成25年10月6日、山形市内で共催として実施した。参加者300名
- ・展示ブースへの出展、パンフレットの配布、パネル等を展示した。
- ・街頭行進を行い、受診勧奨等の呼びかけを行った。

③ 大腸がん検診受診促進事業（新規）

- ・平成26年2月1日、2日、山形県が実施する事業に協力し、山形市内他3ヶ所で実施した。
2,000名(パンフレット配布者)、7名(大腸がん検査キット配布者)
- ・パンフレットの配布、パネル等の展示、大腸がん検査キットの配布等を県内4ヶ所で実施した。

④ その他のキャンペーン等

- ・小児がんチャリティーコンサートへの参加協力
平成25年5月14日、山形県主催の企業連携事業に協力参加し、展示ブースへのパネル出展やパンフレットの配布等を行った。
- ・米沢市と合同街頭キャンペーンへの参加協力
平成25年9月20日、米沢市が実施する事業に協力し、パンフレット等の配布等を実施した。300名(パンフレット配布者)

⑤ 各地域における健康祭り等への参加

参加日	市町村名	名称	参加者数	内容
H25. 10. 6	庄内町	あまるめ秋まつり	約100人	健康相談・骨密度測定等の実施
H25. 11. 10	最上町	健康まつり	約500人	媒体展示・各種パンフレット配布・肺活量測定等の実施
H25. 11. 10	東根市	健康まつり	約500人	健康相談・骨密度測定等の実施
H26. 2. 16	南陽市	えくぼブラザまつり	約200人	骨密度測定と乳がん自己啓発パンフ配布等の実施
H26. 3. 2	大蔵村	健康まつり	約300人	広報媒体の展示・各種パンフ配布等の実施

(2) マスメディアを活用した広報活動の実施

① テレビ放送

放送月	放送局	内容
9月/120回	YBC/YTS TUY/SAY	健康の大切さや検診の重要性を広く呼び掛けるため、モンテディオ山形の奥野監督(がん征圧月間編)並びに横山林沙2013年度ミス日本「水の天使」(結核予防週間編)を起用したテレビCMを放映し啓発を行った。「9月のがん征圧月間と結核予防週間の周知と検診受診勧奨」
1月/28回		健康の大切さや検診の重要性を広く呼び掛けるため、横山林沙2013年度ミス日本「水の天使」を起用したテレビCMを放映し啓発を行った。「検診受診勧奨」
2月～3月/42回		健康の大切さや検診の重要性を広く呼び掛けるため、モンテディオ山形の秋葉選手を起用したテレビCMを放映し啓発を行った。「精密検査受診勧奨」

② ラジオ放送

放送月	放送局	内容
9月/2回	YBC/FM山形	9月14日「みんなで広げよう!健康の輪2013」イベント3会場において、職員が企画参加した「健康ラジオ番組」をYBCラジオ公開生放送とFM山形公開録音にて放送、来場者以外にも県下に幅広く啓発を図った。
9月/40回	YBC/FM山形	健康の大切さや検診の重要性を広く呼び掛けるため、モンテディオ山形の奥野監督(がん征圧月間編)並びに横山林沙2013年度ミス日本「水の天使」(結核予防週間編)を起用したラジオCMを放送し啓発を行った。

③ 新聞広報

掲載日	掲載社	内容
H25. 5. 29 H25. 5. 31	山形新聞・朝日新聞	世界禁煙デーに併せ、検診の受診勧奨を広く呼びかけるため、新聞広告を掲載した。
H25. 7. 27	朝日新聞	「健康やまがた安心プラン策定」山形県がん対策推進計画(2次)の新聞周知記事に併せ、がんの知識啓発と受診を呼びかけるため新聞広告を掲載した。
H25. 8. 30 H25. 8. 31	山形新聞・毎日新聞 読売新聞・朝日新聞	9月のがん征圧月間と結核予防週間の周知広報及び検診の受診勧奨を広く呼びかけるため、新聞広告を掲載した。
H25. 9. 30	山形新聞	「がん検診受診率50%達成に向けた集中キャンペーン月間」にあわせ、がんに対する正しい知識の啓発と受診勧奨のため、新聞広告を掲載した。

2. 広報教育媒体の貸出し

健康まつり、健康催事、事業所等の健康教育媒体として、乳がん触診モデルなどの各種疾病媒体・教育DVD・各種健康パネルの無料貸出しを行った。

健康教育媒体の主な貸出先

貸出日	利用主体	参加者数	利用内容
H25. 5. 14	山形県	約1,400人	小児がんチャリティーコンサート貸出し（新がん予防パネル他）
H25. 7. 4	市町村	約190人	節目健診の際に貸出し（四重奏パネル、新がん予防パネル、疾病模型3台、防煙媒体3台）
H25. 7. 5～ H25. 7. 8	地域文化祭	約50人	地区公民館誕生祭に貸出し 体脂肪計（簡易式）
H25. 8. 7	社員教育	約110人	社員研修に貸出し（新がん予防パネル、DVD：乳がんあなたは、大丈夫？他）
H25. 9. 27 H25. 10. 1	社員教育	約180人	労働衛生推進月間の衛生講話の際に貸出し（DVD：がんちゃんの冒険）／労働衛生推進月間中の健康イベントに貸出し（がん模型8台、体力測定器具、新がん予防パネル）
H25. 10. 14	健康まつり	約600人	健康まつりの際に貸出し（動脈硬化進行模型・四重奏パネル9枚）
H25. 10. 25～ H25. 10. 28	地域文化祭	約100人	地区祭に貸出し（疾病模型4台、健康器具2台、四重奏パネル9枚）
H25. 10. 25～ H25. 10. 28	市町村	約200人	「がん検診受診向上対策キャンペーン」イベントへ貸出し（健康パネル・スモーカーライザ）
H25. 10. 25～ H25. 10. 28	地域文化祭	約100人	地区祭に貸出し（パネルや模型）
H25. 11. 1～ H25. 11. 5	地域文化祭	約50人	地区文化祭に貸出し 体力測定器具（体前屈計）
H25. 12. 6～ H25. 12. 10	市町村	約50人	健康づくり講演会に貸出し（禁煙玉手箱・疾病模型1台）

3. 健康機関誌の作成、配布

健康情報誌、山形県喫煙問題研究会編集禁煙教育パンフレット「タバコと健康」等の各種パンフレットを自治体・学校・病院・事業所に無料配付を行った。また、ホームページにも掲示し、多くの方へ健康啓発や利用促進を図った。

(1) 健康情報誌「しあわせ」（年2回発行）各5,000部

発行月	主な内容
平成25年11月	若い人にも知ってほしい～子宮頸がん～・シリーズ「普段からできる健康管理 栄養編 ～レシピのご紹介～」他（第76号）
平成26年3月	20歳になったら子宮がん検診！・シリーズ「普段からできる健康管理 運動編 ～プラス10 アクティブ生活～」他（第77号）

(2) 禁煙教育パンフレット「タバコと健康」36,300部

配布箇所	送付部数
83箇所	県内 20,600部（東北中央病院 他） / 県外 15,700部（仙台市東北文化学園大学他） 合計 36,300部 送付

(3) 若年者への防煙啓発「防煙パンフレット2種」11,500部（新規）

配布箇所	送付部数
中学校105校及び教育委員会53箇所	早い段階で「たばこの害」についての知識の普及啓発を目的とし、県内中学1年生を対象に、喫煙防止教育パンフレット「タバコと健康・COPD～たばこ病～」を教育資料として無料配布した。

(4) 各種健康パンフレット7種 17,000部 主な配布先：教育委員会、保健所、各健康祭りやイベント他

パンフレット内容	配布部数	備考
結核の常識	4,500部	結核予防会作成
もっと知りたい乳がん	2,000部	日本対がん協会作成
もっと知りたい大腸がん	2,500部	日本対がん協会作成
がん検診	3,000部	日本対がん協会編集
乳がんのセルフチェック	3,000部	日本対がん協会編集
がん予防読本	1,000部	森山紀之国立がん研究センターがん予防・検診研究センター長監修
女性の健康づくりガイド	1,000部	安達和子総合母子保健センター愛育病院産婦人科部長 厚生労働省がん検診に関する検討会委員監修

4. 健康づくり組織活動

疾病予防や生活習慣病の見直し、健康啓発に積極的に取り組み、県全域で活動を行う次の2つの団体の活動を支援した。概ね計画どおりの実施となったが、高齢化等に伴い会員数は減少しており、新規会員の獲得、時代にあった事業内容への見直しなどが課題となっている。

(1) 山形まめの会

市町村及び事業所等で実施する検診、或いは他の医療機関等で疾患を発見され、手術・治療を受けられた方の集まりで、会員相互の情報交換や啓蒙活動を目的に活動。術後者がより快適な健康生活を営み、また自らの体験を通じて健康管理や検診の重要性を多くの方々に理解していただくため、地域行事や研修会などさまざまな場を利用し、「早期発見、早期治療の大切さ」を積極的に訴える等、各種疾患による犠牲者をなくすための諸活動に対し、1,150,000円の助成と職員派遣等の活動サポートを行った。

（平成25年4月1日 総会員数125人）

主な活動内容

開催日	活動項目	参加会員数	内容
H25. 5. 30～H25. 5. 31	役員会（山形市内）	10人	平成24年度事業報告・決算並びに平成25年度事業計画の審議・承認等

H25. 6. 20～H25. 6. 21	全国よろこびの会総会（青森市内）	8人	平成24年度事業報告・決算並びに平成25年度事業計画の審議・承認等
H25. 7. 22	県総会（山形市内）	50人	平成24年度事業報告・平成25年度事業計画報告説明、健康講演の聴講
H25. 9. 10	みやぎよろこびの会大会（仙台市内）	4人	宮城県支部との情報交換
H25. 11. 6～H25. 11. 7	米沢・南陽支部合同情報交換会	15人	健康食品に関する情報習得：岩手ヤクルト工場視察、被災地の医療状況等習得
H25. 11. 25～H25. 11. 26	庄内・最上支部合同情報交換会	8人	保健師による健康食品に関する講話等
H25. 12. 10～H25. 12. 26	米沢支部情報交換会	20人	まめの会カレンダーの作成、会員等へ配布
H26. 3. 20	最上支部情報交換会	8人	情報交換及び平成26年度の活動計画承認等
H26. 3. 20	米沢支部情報交換会	7人	保健師による健康講話、簡易検診の実施、平成26年度の活動計画承認等
H26. 3. 26	庄内支部情報交換会	9人	保健師による健康講話、平成26年度の活動計画承認等
H26. 3. 27	南陽支部情報交換会	15人	保健師による健康講話、平成26年度の活動計画承認等

(2) 山形県結核成人病予防婦人団体連絡協議会

「山形県婦人連盟」・「山形県JA女性組織協議会」・「山形県商工会女性部連合会」の3団体が集い、結核撲滅・がん征圧を目指し設立。「家族の健康は主婦の手で」を合い言葉に、結核及び各種疾患の予防の普及や検診の受診勧奨などを婦人層に広く啓発を図ることを目的に活動を行っており、その諸活動に対し、2,300,000円の助成と職員派遣等の活動サポートを行った。

主な活動内容

開催日	活動項目	参加会員数	内容
H25. 7. 4	山婦協理事会（山形市内）	10人	平成24年度事業報告・決算並びに平成25年度事業計画の審議・承認
H25. 11. 14～H25. 11. 15	東北地区幹部研修会（盛岡市内）	210人	健康講演・シンポジウムを通じ、健康管理に関する情報の習得（当会員8人出席）
H25. 11. 28～H25. 11. 29	山婦協全体研修会（担当：庄内ブロック）	44人	健康講演・健康講話を通じ、健康管理に関する情報習得を実施
H25. 10. 30	最上ブロック研修会（金山町女性団体連絡協議会）	23人	生活習慣病予防のための減塩、野菜の料理教室を実施
H25. 12. 8	置賜ブロック研修会（JAおきたま川西地区女性部）	55人	軽運動を盛り込んでのメタボ予防、腰痛予防等に関する講話を実施
H26. 1. 14	庄内ブロック研修会（鶴形地区婦人会）	25人	疾病予防のための健康生活と題し管理栄養士の講話を実施
H26. 1. 28	村山ブロック研修会（天童市長岡地区婦人会）	17人	生活習慣病予防のための減塩、野菜の料理教室を実施
H26. 2. 25	置賜ブロック研修会（置賜管内婦人団体会員）	86人	保健師によるロコモ予防に係る講話や医師による腎臓疾患予防の講話を実施
H26. 3. 3	村山ブロック研修会（天童市連合婦人会）	30人	複十字シール運動（結核・肺がん・COPDなど胸部疾患への関心を高め、運動の歴史とその意義について学習し、複十字シールの活用方法について意見交換を実施
H26. 3. 18	置賜ブロック研修会（JAおきたま女性部）	58人	保健師によるがん予防に係る講話を実施

5. その他の普及啓発

結核・生活習慣病に関する情報の提供、保健事業や健康管理についての知識の向上と予防対策の普及啓発を計画どおり実施した。募金活動等については、依然として他県の類似の検診機関と比較しても募金額が少なく、改善に向けた取組みを検討していく必要がある。

(1) 研修会の開催

事業所の健康管理担当者研修会の開催

開催日	研修名	参加数	内容
H26. 2. 27	平成25年度健康管理担当者会議（山形）	61人	山形検診センター管内事業所健康管理担当者に結核及び各種疾患の予防の普及や検診の受診勧奨など、広く啓発を図ることを目的に開催、職員の講話など、職場における健康管理の活動サポート、情報の提供を行った。
H26. 3. 14	平成25年度健康管理担当者研修会（米沢）	43人	置賜地区健康管理推進連絡協議会との共催により職場の健康管理、食生活等の講演等を実施し、健康診断・健康管理の重要性を訴えた。

(2) 講演会への派遣

健康教室へ医師並びに保健師及び管理栄養士の職員等を派遣し健康知識の啓発を行った。

主な講演会への派遣

派遣日	派遣先	参加数	講演・講和
H25. 7. 17	団体職員	150人	管理栄養士「食中毒にご注意」
H25. 10. 8/H25. 11. 7 H25. 11. 19	山形県経営者協会主催「生涯設計セミナー」	120人	医師「高齢者の健康に関する講話」 米沢市（伝国の杜）他2箇所
H25. 12. 28	私立学校教職員	50人	保健師「健康診断120%活用術」
H26. 1. 28	地区婦人会	17人	管理栄養士「生活習慣病予防のための調理実習」
H26. 2. 19	町地区担当者	50人	保健師「検診のススメ」
H26. 2. 26	銀行職員	25人	運動指導士「100歳まで使える 体の整え方」

(3) 結核予防会・対がん協会連携関係

全国大会出席	第65回結核予防全国大会 3/13～3/14	結核撲滅の対策強化とした大会宣言が島根県にて決議された。	
	平成25年度がん征圧全国大会 9/12～9/13	がん征圧運動の主要行事である全国大会を北海道にて開催、情報交換会等を行った。	
機関誌及びパンフレット啓発	結核予防会「複十字誌」	5・7・9・11・1・3/各月	市町村・保健所・医師会他
	結核予防会禁煙ポスター送付掲示	5月	市町村・保健所・健保組合他
	結核予防ポスター送付掲示	9月	県内学校他
	日本対がん協会報	毎月・増刊1回	県内病院・医院・医師・事業所他
	がん征圧月間及び予防ポスター送付掲示	9月	山形県医師会

(4) 募金活動等

① 維持会募金 1,398,000円 (64法人・255個人)

【がん及び生活習慣病征圧のために繰り広げている募金運動】

・頂いた浄財は、健康啓発イベントやテレビ、ラジオ、新聞等を利用した健康増進や検診受診の呼びかけ、パンフレット等の購入、生活習慣病予防の活動をしている組織団体への助成に活用いたしました。

② 複十字シール運動募金 540,900円 (山形県婦人連盟、山形県商工会女性部連合会、他)

【(公財)結核予防会が窓口となり、結核や肺がん、その他胸の病気をなくすために繰り広げ世界各国で行われている募金運動】

・頂いた浄財は、(公財)結核予防会本部へ全額納付し、検診車や検診機器の整備、結核予防に関する大会・研修会などの教育広報、結核対策途上国等への支援に幅広く活用されました。

③ 一般募金 1,846,227円 (米沢市衛生組合連合会・きらやか友の会)

Ⅲ. 各種検診等の実施

1. 検診事業

医療保険者、自治体、事業所等からの委託を受けて各種検診・検査を実施した。地域住民検診では、実施主体である市町村と連携した受診者確保対策が受診者の増に繋がったが、職域職員検診では、事業所の規模縮小による社員数の減や大手企業への移行などがあり、受診者が減少し、渉外等による対策が課題となった。

主な検診・検査の状況として、特定健康診査は、一部医療保険者の実施数の減や人間ドックへの移行などによる減少があったが、休日健診や未受診者対策で増えた地域もあり、計画どおり実施できた。特定保健指導は、計画割れとなった。過去に実施した効果などにより年々対象者が減っていることや毎年対象となる方の利用率の減少などが課題となった。各種がん検診は、大腸がん検診は一部の地域で対象者全員に検査キットを配布したところ大きく伸びたほか、他のがん検診は単独項目では計画割れもあるが、人間ドック等による検診数を含めると増やすことができた。人間ドックは、申込者に対して事前電話連絡を行い未受診率を減少させたことや各市町村と連携して電話やはがきによる未受診者対策を行ったことが受診者増に繋がった。全国健康保険協会管掌健康保険生活習慣病予防健診は、対象事業所に対して案内を行い、新規受診者を伸ばすことができた。一方で、一般検査は、大手企業への他検診機関への移行や社員数の減少、全国健康保険協会管掌健康保険生活習慣病予防健診への移行等があり減少した。

検診全体では人間ドック等を増やして総合健診化を進めることはできたが、計画割れの項目もあり、厳しい状況であった。

- ・未受診者への積極的な受診勧奨の他、人間ドック受診予定者に対して実施主体からの了解のもと予約日の数日前に電話連絡し、受診者確保に努めるとともに、全体的な受診者数の底上げを行った。
- ・ICカードハンディ健診・当日結果処理システムを有効に活用し、検診事務の効率化を図った。
- ・巡回診療（胃・呼吸器検診車による単独検診）における医師立会いを平成25年8月より実施した。

(単位：人)

検診・検査項目	計画	実績	比較	増減理由	参考 (平成25年5月1日現在の数)
特定健康診査	52,775	52,831	56		
特定保健指導	2,515	2,382	△133	対象者の減などによる利用者の減	
生活機能評価	1,945	1,659	△286	1町で受診とりやめによる減	
胃がん検診 (単+ド+余)	53,625	52,850	△775	山形検診Cの3市で受診希望者の減 庄内検診Cで人間ドックへの移行に伴う減	発見がん患者数(疑含む) 86人 がん発見率 0.08%
大腸がん検診 (単+ド+余)	63,915	65,007	1,092	飛上、米沢検診Cでの新規受診、希望者の増	発見がん患者数(疑含む) 114人 がん発見率 0.09%
子宮頸がん検診 (単+ド+余)	119,705	122,723	3,018	南陽検診Cで2市に検診希望に因らず全対象者に検査キットを配布したことによる増	発見がん患者数(疑含む) 28人 がん発見率 0.07%
子宮頸がん検診 (単+ド+余)	19,570	19,551	△19		
併用 (単+ド+余)	38,687	39,011	324		
併用 (単+ド+余)	17,000	17,460	460	庄内、飛上、南陽検診C管内の受診希望者の増	発見がん患者数(疑含む) 49人 がん発見率 0.13%
検・触診 (単+ド)	34,980	35,712	732		
検・触診 (単+ド)	1,370	1,270	△100		
検・触診 (単+ド)	1,420	1,333	△87		
乳房超音波 検	25	44	19		
検 別(×組)	65	41	△24		
×線 (単+ド)	44,895	44,539	△356	庄内、飛上、米沢検診C管内の一般住民の減	発見がん患者数(疑含む) 55人 がん発見率 0.07%
×線 (単+ド)	77,965	78,291	326		
×線 (単+ド)	2,650	2,580	△70		
×線 (単+ド)	3,530	3,434	△96		
×線 (単+ド+余)	40,380	39,512	△868	高校の生徒数の減 単独巡回検診の受診者の減	前結核患者数 3人 発見率 0.002%
×線 (単+ド+余)	121,190	120,154	△1,036		
×線 (単+ド)	40	26	△14		結核検診からの前がん 29人 発見率 0.02%
×線 (単+ド)	20	9	△11		
人間ドック	34,275	34,990	715	山形、南陽検診Cで一般住民の増 米沢検診Cで職域職員等の増	
全国健康保険協会管掌健康保険生活習慣病予防健診	23,980	25,270	1,290	新規受診、定期健診からの移行による増	
腹部超音波検査 (単+余)	30,925	31,458	533	人間ドック等のオプションとして、受診勧奨の効果による増	発見がん患者数(疑含む) 7人 がん発見率 0.02%
腹部超音波検査 (単+余)	31,650	32,260	610		
一般検査 定 一般診 定 日健診	55,530	54,305	△1,225	大手企業への他検診機関への移行及び社員数の減並びに 全国健康保険協会管掌健康診への移行による減	
一般検査 定 日健診	16,430	15,708	△722		
一般検査 定 日健診(単+種)	456,610	473,598	16,988	血液などの単品項目の新規受診による増	
学校検診(証+件)	49,895	57,697	7,802	庄内検診Cで中学生の尿検査を新規受診	
細胞診検査(件)	10,590	10,905	315	病院、医院からの受託数の増	〔自費式〕6,603件(うち「胃がん」 発見がん患者数(疑含む) 23人 がん発見率 0.21%
前立腺がん検診	21,805	21,802	497	人間ドック等のオプションとして、受診勧奨の効果による増	発見がん患者数(疑含む) 94人 がん発見率 0.52%
骨密度測定	19,065	18,134	△931	高校等の対象者の減 受診者が毎年受診を控える傾向あり	
肝炎ウイルス検診	7,310	7,616	306	未受診者勧奨と無料クーポン利用者の増	

(注) 単=単独検診 定=定期健康診査 ド=人間ドック 全=全国健康保険協会管掌健康保険生活習慣病予防健診

受託事務等

項目	計画	実績	比較増減
受付問診等 (人)	5,907	4,859	△1,048
結果送付 (件)	83,165	85,885	2,720
料金徴収 (件)	25,949	26,012	63

※上記各種検診に含まれる離島や過疎地における出張検診、社会福祉施設等の健康診断は以下のとおり。

(1) 離島（飛鳥）検診を実施した。

項目	計画	実績	比較増減
特定健康診査	110人	123人	13人
大腸がん検診	60人	66人	6人
肺がん検診	70人	81人	11人
前立腺がん検診	15人	13人	△2人
骨密度測定	25人	33人	8人
肝炎ウイルス検診	5人	2人	△3人

(2) 県内の過疎地域、僻地の検診を実施した。

(3市、13町、3村)

項目	計画	実績	比較増減
特定健康診査	14,570人	15,722人	1152人
特定保健指導	380人	450人	70人
胃がん検診	9,185人	9,036人	△149人
大腸がん検診	11,600人	12,800人	1200人
子宮がん検診	4,090人	4,178人	88人
乳がん検診	3,580人	3,617人	37人
肺がん検診	10,910人	10,827人	△83人
結核検診	8,350人	8,735人	385人
腹部超音波検査	6,360人	7,342人	982人
前立腺がん検診	5,170人	5,440人	270人
骨密度測定	3,360人	3,428人	68人
肝炎ウイルス検診	1,840人	1,948人	108人
人間ドック	9,490人	10,712人	1222人
職域検診	13,440人	11,594人	△1846人
学校検診	4,430人	4,864人	434人

(3) 県内の老人福祉施設、障がい者支援施設、身体障がい者厚生援護施設知的障がい者援護施設入所者の検診を実施した。

項目	計画	実績	比較増減
定期健康診査	1,595人	1,633人	38人
呼吸器検診	2,330人	2,348人	18人
胃がん検診	275人	264人	△11人
大腸がん検診	265人	296人	31人
子宮がん検診	225人	220人	△5人
乳がん検診	175人	187人	12人
血液検査	485人	1,273人	788人

2. 事後管理

- (1) 人間ドック受診者へ医師による当日結果指導を実施した。(1健康保険組合 対象者507人中、488人を実施)
- (2) 定期健康診断受診者へ医師による当日結果指導を実施した。(1社 対象者935人中、892人を実施)
- (3) 電話による健康相談を403人に実施した。
- (4) 検診後の事後指導の依頼を38社から受け、1,061人に対して実施した。
- (5) 精密検査の未受診者把握に努め実施主体と連携し、受診勧奨を行い受診率向上に努めた。
- (6) 検査の結果、至急を要する方に対して、全ての結果が出る前に紹介状を発行し医療機関受診を勧奨した。(926人)

IV. 資料収集・調査研究協力等

1. データ収集

調査研究等へ活用するため、検診データ5年分を収集している。(平成21年度～平成25年度)

マスタファイル種別	収 集 件 数
総合健診	1,010,473
胃がん検診	519,663
大腸がん検診	586,836
子宮がん検診	191,888
乳がん検診	186,939
呼吸器検診	984,615
腹部超音波検査	157,043
前立腺がん検診	100,363
骨密度測定	86,567
肝炎ウイルス検診	30,048
合 計	3,854,435

2. データ提供等

精度管理向上のための基礎資料となるデータを提供した。(本年度、山形県、山形大学医学部、置賜保健所の要望に基づき新たにデータを提供した。)

提供先	内 容
山形県	がん検診成績及び実施状況のデータ提供。山形県生活習慣病検診等管理指導協議会の基礎資料となる。 市町村におけるB型肝炎・C型肝炎ウイルス検査結果(H20～24)を提供。
山形県医師会	各中央委員会へデータ提供。山形県医師会主催の各種検診中央委員会の基礎資料となる。
日本対がん協会	がん検診成績及びがん検診の追跡調査データ提供。日本対がん協会の基礎資料となる。
日本乳癌検診学会	乳癌検診実態調査。同学会及びMMG精度管理中央委員会の全国実態把握の基礎資料となる。
日本消化器がん検診学会	消化器がん検診実態調査。同学会全国集計調査の基礎資料となる。
山形大学第一外科	乳がん検診受診者結果データ(H20～24)を提供。
置賜保健所、米沢市	米沢市の特定健康診断受診者のHbA1cデータ等を提供。糖尿病重症化予防モデル事業に活用。
米沢市医師会	胃がん検診フィルム及びデータを提供。症例検討会時に活用。
山形県自動車販売健康保険組合	経年的な検診と特定保健指導データを提供。

3. 調査研究協力

1) 乳がん検診における超音波検査の有効性を検証するための比較試験 (東北大学)

通常の検診(視触診+マンモグラフィ)に超音波検査を併用で実施する検診と、超音波検査を併用しない検診を実施した方(研究同意者)の追跡調査及びデータ入力に協力した。

2) 山形分子疫学コホート研究 (山形大学)

ゲノム疫学手法を基盤に、疾患の原因となる遺伝子素因とこれらと深く関わる生活習慣(環境因子)の解明を目指す研究事業に協力(採血・尿検査)した。(1市 278人 同意率 70.2%)

3) IgA腎症新規バイオマーカーを用いた血尿の2次スクリーニング (山形大学)

健診で尿潜血陽性を指摘された受診者に対し、診断スコア法によるIgA腎症患者の割合を明らかにし、IgA腎症の早期診断・治療介入の礎とする研究事業に協力(尿検査)した。(1健康保険組合、1大学 計 29人)

4. 学会発表、講演、講話

蓄積された検診データを活用し、学会発表を行った。

学会名	発表内容
第51回日本消化器がん検診学会東北地方会	「胃がん検診の現状と今後の課題」 庄内検診C 五十嵐診療放射線技師
第33回東北地区集検放射線技術部会研究会	「当センターにおける乳がん検診の現状」 米沢検診C 青木診療放射線技師 パネルディスカッション
第40回山形県公衆衛生学会	「胃がん検診における安全管理」 最上検診C 植松主任診療放射線技師
第9回東北セミナー	「平成20～23年度特定保健指導アンケート実施結果のまとめ」 山形検診C 石栗管理栄養士
	「超音波健(検)診に於ける受診者応対」 最上検診C 阿部業務課主査

5. 健康教育

検診結果データを集約、解析し、健康講話を28社、1,889人に対して実施した。
また、今年度初めて4社より調理実習の依頼があり、54人に対して実施した。

6. 精度管理

(1) 検（健）診委員会を開催し、データを集約、解析し、評価を行うとともに、提案事項や課題について協議した。

委員会名		内容
循環器等健診委員会	(合同開催)	eGFRと血清クレアチニンをセットで平成26年度より導入する。
人間ドック委員会		人間ドックオプション項目に甲状腺機能検査を平成26年度より導入する。
消化器検診委員会		胃がんリスク評価実施の際は、実施主体や受診者に十分な説明を要す。
呼吸器検診委員会		高危険群の喀痰受診者拡大や読影判定基準の再周知が課題。
子宮がん検診委員会		細胞診とHPV併用検診導入を検討（平成27年度導入に向け、平成26年度は準備期間）
乳がん検診委員会		読影医師への成績公表や読影精度の地域差是正が課題。精検結果が、がん疑いの方の最終診断追跡を要す。
超音波検査委員会		日本消化器がん検診学会を中心に作成されたカテゴリー分類を平成26年度より導入する。

(2) 日本医師会及び日本臨床検査技師会へ精度管理調査を依頼し、5検診センターともに良好な評価を得た。

(単位：点)

センター名	山形	庄内	最上	米沢	南陽	評価対象分野
実施機関名						
日本医師会	99.7	100	99.4	100	99.4	臨床化学・免疫血清・血液・一般検査
日本臨床検査技師会	98.6	100	98.2	100	100	臨床化学・免疫血清・血液・一般検査・細胞検査（山形のみ）

V. 管理部門の概要

1. 理事会・評議員会に関する事項

開催日	会議名	議題事項
平成25年4月1日	第1回(臨時)理事会	「専務理事選任」の件 ※出席理事6名、出席監事2名
平成25年6月6日	第2回(通常)理事会	平成24年度「事業報告及び附属明細書」承認の件 平成24年度「決算財務諸表及び財産目録」承認の件 平成24年度「資金収支計算書」承認の件 平成24年度「その他必要とされる書類」の件 平成24年度「理事の取引報告」の件 平成25年度「理事の取引」承認の件 「専務理事の報酬額改定」承認の件 「定款の一部変更の案」承認の件 ※出席理事8名、出席監事2名
平成25年6月27日	第1回(定時)評議員会	平成24年度「事業報告」の件 平成24年度「貸借対照表並びに正味財産増減計算書及び財産目録」承認の件 「専務理事の報酬額」承認の件 「評議員の辞任に伴う選任」の件 「定款の一部変更」承認の件 「役員及び評議員の報酬等及び費用に関する規程の一部改正」承認の件 「評議員会運営規則の一部改正」の件 ※出席評議員5名、出席理事5名、出席監事2名
平成25年9月19日	第3回(臨時)理事会	「専務理事の報酬月額改定」の件 ※理事全員の書面同意決議
平成25年12月5日	第4回(臨時)理事会	「平成25年度中間決算見込」報告の件 「平成25年度資金収支補正予算」承認の件 「平成26年度検診・検査料金」承認の件 「業務執行状況」報告の件 ※出席理事8名、出席監事2名
平成25年12月25日	第5回(臨時)理事会	「就業規則の一部改正」の件 ※理事全員の書面同意決議
平成26年3月10日	第6回(通常)理事会	「平成25年度最終決算見込」報告の件 「平成26年度事業実施計画」承認の件 「平成26年度収支予算」承認の件 「山形県医師信用組合との取引」承認の件 「平成26年度検診料金改定」承認の件 「山形検診センター等の組織再編」承認の件 「重要な使用人の選任・解任」承認の件 「監事の辞任に伴う候補者」報告の件 「決議の省略による臨時評議員会の招集並びに提出議題について」承認の件 ※出席理事9名、出席監事2名
平成26年3月25日	第2回(臨時)評議員会	監事の辞任に伴う選任の件 ※評議員全員の書面同意決議

2. 役員等に関する事項 (平成26年3月31日現在)

役員 理事10名・監事2名

役名	氏名	就任年月日	任期	備考
理事長	有海 躬行	H24. 4. 1	平成26年開催の定時評議員会最終の時まで	代表理事
副理事長	横山 紘一	H24. 4. 1		業務執行理事
専務理事	土海 安雄	H25. 4. 1		業務執行理事
理事	後藤 利昭	H24. 4. 1		
〃	齋藤 幹郎	H24. 4. 1		
〃	佐藤 徳彦	H24. 6. 29		
〃	高橋 秀昭	H24. 4. 1		
〃	本間 清和	H24. 4. 1		
〃	本間 隆宏	H24. 4. 1		
〃	山科 昭雄	H24. 4. 1		
監事	奥山 享	H24. 4. 1		
〃	海和 邦博	H24. 4. 1		

※海和邦博監事はH26. 3. 31退任

五十音順

評議員 9名

役名	氏名	就任年月日	任期	備考
評議員	朝井 正夫	H24. 4. 1	平成28年開催の定時評議員会最終の時まで	
〃	梅津 宏明	H25. 6. 27		
〃	大内 清則	H24. 6. 29		
〃	後藤 敏和	H25. 6. 27		
〃	佐藤 和志	H25. 6. 27		
〃	富田 博	H24. 6. 29		
〃	中條 明夫	H24. 6. 29		
〃	長沼 良治	H24. 6. 29		
〃	山口 一郎	H24. 4. 1		

五十音順

顧問 2名

役名	氏名	就任年月日	備考
顧問	岸 陽一	H24. 6. 15	
"	國井 一彦	H24. 6. 15	

五十音順

退任した役員等

退任時の役名	氏名	退任年月日	就任年月日	備考
評議員	伊藤 俊夫	H25. 6. 27	H24. 4. 1	
"	早坂 勝治	H25. 6. 27	H24. 6. 29	

3. 職員に関する事項 (平成26年3月31日現在)

所属管理者

所 属	職名	氏名	職名	氏名
事 務 局	事務局長	土海 安雄	総務部長	本間 隆宏
	医療監	横山 紘一	(兼)事業調整部長	佐藤 徳彦
山形検診センター	所 長	齋藤 幹郎	副 所 長	上野 俊幸
庄内検診センター	所 長	本間 清和	副 所 長	高橋 郁夫
最上検診センター	所 長	山科 昭雄	副 所 長	高橋 清一
米沢検診センター	所 長	高橋 秀昭	副 所 長	荒井 信行
南陽検診センター	所 長	後藤 利昭	副 所 長	—
細胞診センター	副 所 長	石山 和敏	—	—

職種別職員数

職種	事務(員)職	業務(員)職	医師	診療放射線 技師	保健師	看護師	臨床検査 技師	管理栄養士	細胞検査士	合計
正規職員	78人	2人	0人	28人	10人	37人	31人	5人	4人	195人
嘱託職員	77人	9人	9人	6人	3人	25人	9人	0人	0人	138人
合計	155人	11人	9人	34人	13人	62人	40人	5人	4人	333人

※役員(事務局長・医療監・5所長)7名を除き集計、専門職の管理職は事務職に集計、嘱託職員は年度内に雇用した人数を集計しております。

VI. 附属明細書

当該事業結果報告をもって、事業報告附属明細書を省略する。